

特別賞

森林や自然を守る

神戸小学校 田中 壮樹

からです。

二つ目は、酸性雨はどうしてできるのか調べました。酸性雨は、工場や車などから出されているイオウ酸化物やちつ素酸化物が化学反応を繰り返して強い酸性の物質になり、雨となっておりてくるのが酸性雨です。

森林が切られると二酸化炭素が増える。

では二酸化炭素が増えるとどのようなことがおこるのか。それは地球があつくなる地球温だん化というもとになってしまいます。

それから森林がきられるとそこに住んでいる動物が住めなくなり絶めつや絶めつしそうな動物たちが出てきまます。これは人間のせいでの起こつたことなので、今人間たちが、がんばって絶めつしそうな動物たちをはんしょくさせて、絶めつしそうな動物たちを復活させることをしています。だから今、ぼくたちにできることは、水や電気のむだづかいをせず、節電をすることだと思います。

そうすれば、地球温暖化の原因になつて二酸化炭素をへらすことができると思います。
また電気自動車を使いはい気ガスがないようにしています。

これからも森林や自然を大切にしていきたいと思います。

今、地球上には、森林や自然が少なくなっていることが分かりました。ぼくは、なぜ森林や自然が少なくなってしまったのか調べてみました。すると森林や自然が少なくなっている理由が分かりました。

一つ目は人間による森林ばつさい。

二つ目は工場から出るはい気ガスにより、よごれた空気が酸性雨としておちていき、木をからしてしまったりしているからです。

ぼくは、「このことを調べて人間のせいでの森林が切られて、そこに住んでいる動物たちが住めなくなってしまったりするし、人間に、なくてはならない酸素が森林や、木が切れてしまうことによつて二酸化炭素が増え地球に人間がすめなくなってしまう」ということがわかり、森林は生き物にとっても大事なそんざいなんだな、ということが分かりました。

一つ目の森林ばつさいのことはどうして、森林ばつさいをするのか調べてみました。それは、木で家を作つたり、木炭などに木を使うため森林を燃やすので森林がなくなる